

ブックシェアリングで 北海道の図書環境を 豊かにしましょう

集まった図書の仕分け活動 (2008年4月26日)

3カ月で2万冊集まりました



北海道ブックシェアリングは、児童会館や子育て支援施設、コミュニティ・スペースなど、小規模な公共施設の図書コーナーに無償で図書を提供し、北海道の図書環境を豊かにしていこう、との思いで2008年1月に発足しました。

発足から3カ月で集まった図書はおよそ2万冊。当初の予想を大きく上回りました。ボランティアスタッフ20人が仕分け・クリーニングを行い、図書を必要としている団体への寄贈も始まりました。

せめて児童書だけでも棚に並べたい

いま活動の中で一番必要なのは「図書を収蔵・管理するスペース」です。現在、札幌の社会福祉法人のご厚意で、南区の体育館の一部を保管場所として貸していただいています。しかし、仕分けやクリーニング、提供などの作業のたびにダンボールから本を取り出し、終わったらまたダンボールに詰めて、積み上げているため、作業がなかなか進みません。せめて児童書だけでも開架で保管できるスペースが欲しいのです。どうか皆さんのお知恵とお力をお貸しいただければ幸いです。

今後、月に10団体にそれぞれ100冊、計1000冊のペースで図書を提供したいと考えています。年間になると約12000冊、金額にすると約1400万円相当（児童書の平均的な単価の1200円で換算）の図書購入の手助けができます。もし、これらの図書がリユース（再利用）されずに捨てられていたら6トンものごみ（1冊500g換算）に相当します。より一層のCO2削減が求められているなか、私たちはブックシェアリング活動を通じて「捨てずに再利用」の社会をつくっていきたいと考えています。

【北海道ブックシェアリング】

道内の図書関係者、教育関係者が中心となって2008年1月に設立したボランティア団体。登録ボランティア20人。応援会員50人。

現在は作業ごとにダンボールから出し入れしている



子育て支援団体に寄贈した本で図書コーナーができました